

令和4年度（2022年度）

星槎道都大学 通信教育科

精神保健福祉士養成課程（短期）

各科目の学習のポイント

<シラバス>



『精神疾患とその治療』

担当教員：伊東 隆雄

精神医学および精神医療の歴史について概観すると共に、精神医学の概念および精神障害の成因と分類について解説する。次に、精神症状と状態像、診断の手順と方法、そして治療法についても最新の事例を紹介しながら解説する。特に、統合失調症、うつ病などの重要な代表的精神疾患について、固有の特徴について詳細に解説する。

【授業の目的・ねらい】

精神保健福祉士の業務に必要な精神医学の知識の理解、とくに主要な精神疾患の症状、経過、治療等についての理解を深める。

【授業全体の内容と概要】

- ①代表的な精神疾患について症状、診断・治療法・経過を理解する。
- ②精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。
- ③精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員に関わる際に担うべき役割について理解する。

【具体的な授業内容】

- ①精神医学、精神医療の歴史について学びます。
- ②代表的な精神疾患について学びます。
 症状性を含む器質性精神障害（老人性認知症を含む）、精神作用物質使用による精神および行動の障害、統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害、気分（感情）障害など。
- ③精神疾患の治療について学びます。
 ・診断法：診断の手順と方法、精神症状と状態像、心理検査と身体的検査。
 ・治療法：身体的療法薬物療法、身体的療法電気ショック療法、精神科リハビリテーションなど。
- ④精神科医療機関の治療構造及び専門病棟について学びます。
- ⑤精神科治療における人権擁護について学びます。インフォームドコンセントなど。
- ⑥精神科病院におけるチーム医療と精神保健福祉士の役割について学びます。
- ⑦精神医療と福祉及び関連機関との間における連携の重要性について学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会

『新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療』中央法規 2016年

【精神疾患とその治療：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第4章「代表的な精神疾患」の第3節「統合失調症」を参照し、統合失調症という疾患はどのような疾患なのか、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第5章「精神疾患の治療」の第4節「精神科リハビリテーション」を参照し、精神科リハビリテーションとはどのようなものであるのか。その効果も含め、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 5月23日(月) ② 2022年 6月27日(月)
スクーリング	2022年 7月17日(日)
小テスト	2022年 7月25日(月)

『精神保健の課題と支援』

担当教員：佐々木 智城

うつ病や自殺に象徴される「こころの健康」に関する問題は、すべての国民に起こりうる普遍的な健康課題である。日本国民の少なくとも5人に1人が精神疾患を体験する状況となっており、精神疾患は、もはや、がん、心臓疾患とならぶ我が国の三大疾患となった。こうした社会状況の中で、地域レベル、国レベル、国際レベルでの「精神保健」に関する実践、政策の発展が緊急に求められている。「医療」は、病気の治癒・回復を目指すことを主たる目的とするが、一方で「保健」は健康問題の「予防」を目指すという特徴を持つ。ひきこもり、薬物・アルコール問題、虐待、DVなど様々な社会的問題の解決に向けた取り組みにおいて、「精神保健」が果たす役割は極めて大きい。

本科目では、様々な社会問題について、精神保健的視点からとらえ、諸問題の解決方法について学ぶ。

【授業の目的・ねらい】

精神保健の役割を認識するとともに、社会学的・公衆衛生学的な視点から精神疾患についての理解を深める。

【授業全体の内容と概要】

- ①精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する。
- ②現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。
- ③国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。

【具体的な授業内容】

- ①精神の健康と、精神の健康に関連する要因及び精神保健の概要について学びます。
- ②精神保健の視点から見た家族・学校教育・勤労者の課題とアプローチについて学びます。
- ③精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割について学びます。
- ④地域精神保健に関する諸活動と精神保健に関する偏見・差別等の課題について学びます。
- ⑤精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携について学びます。
- ⑥諸外国の精神保健活動の現状及び対策について学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会

『新・精神保健福祉士養成講座2 精神保健の課題と支援』（第3版） 中央法規 2018年

【精神保健の課題と支援：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第2章「精神の健康とその要因」を参照し、精神疾患になるにはどのような要因があるのか、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第7章「精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割」の第1節から第8節までの項目の中で、各自興味のある項目を選択し、各症状に対する対策と、精神保健福祉士ができる対応について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

スクーリングについて

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 5月23日(月) ② 2022年 8月22日(月)
スクーリング	2022年 6月5日(日)
小テスト	2022年 7月25日(月)

『精神保健福祉相談援助の基盤(専門)』

担当教員：西野 克俊

精神保健福祉士としての倫理観を身につけ、必要な専門的知識と技術を修得する。近年の社会情勢の変化に伴い、精神保健福祉士への期待は年々高まり、あらゆる場面で活動を求められるようになってきた。その期待に柔軟に応えられる精神保健福祉士を目指し、意識的・能動的に取り組む姿勢を養う。

【授業の目的・ねらい】

- ①精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する。
- ②精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する。
- ③精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。
- ④精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。

【授業全体の内容と概要】

- ①精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の基本的考え方。
- ②相談援助に係わる専門職（精神科病院、精神科診療所を含む）の概念と範囲。
- ③精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲。
- ④精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携（チームアプローチを含む）の意義と内容。

【具体的な授業内容】

- ①精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの歴史・価値・専門性・理念・活動・支援プロセス・対象者について学びます。
- ②精神保健福祉分野における支援機関「医療機関（精神科病院、精神科診療所を含む）」「福祉行政・関連行政機関等」「民間・教育・心理機関」について学びます。
- ③精神保健福祉分野における権利擁護・人権擁護について学びます。
- ④精神保健福祉分野における包括的援助アプローチについて学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会

『新・精神保健福祉士養成講座3 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）』第2版
中央法規 2015年

【精神保健福祉相談援助の基盤(専門)：レポート課題】

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、権利擁護とはどういう概念なのか、そして精神保健福祉士は権利擁護にどのように立ち向かうことができるのか、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	課題に従い、教科書の内容をまとめるだけでなく、自身の考えも記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

スクーリングについて

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	2022年 5月23日(月)
スクーリング	2022年 7月23日(土)
小テスト	2022年 7月25日(月)

『精神保健福祉の理論と相談援助の展開』

担当教員：西野 克俊

精神保健福祉士の専門性は、価値（倫理）・知識・技術に分類される。本講義では、この専門性を身につけるために必要なソーシャルワークのさまざまな援助技術について、基本的な知識を踏まえ、展開方法の理解を深める。

【授業の目的・ねらい】

- ①精神保健医療福祉がどのようにして誕生したのか、そしてどのような理念をもって支援をしているのかなどについて理解する。
- ②精神科リハビリテーションを実施する際のプロセスや実際の作業等、どのように展開しているのかを理解する。

【授業全体の内容と概要】

- ①精神保健医療福祉の歴史と動向（日本・海外）について理解する。
- ②精神科医療機関における精神科リハビリテーションについて理解する。
- ③精神障害を抱える方へのソーシャルワーク支援の視点・プロセスについて理解する。

【具体的な授業内容】

- ①精神保健医療福祉の歴史と動向について学びます。
- ②精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識について学びます。
- ③精神科リハビリテーションの概念と構成・プロセス・チーム医療について学びます。
- ④相談援助の支援モデル、展開過程及び対象者との具体的な援助関係・技術について学びます。
- ⑤相談援助活動の展開（医療施設、社会復帰施設、地域移行を含む。）について学びます。
- ⑥家族調整・支援の実際と事例分析方法について学びます。
- ⑦スーパービジョンとコンサルテーションについて学びます。
- ⑧地域を基盤とした相談援助、リハビリテーション、ケアマネジメント、ネットワーキングの基本的考え方について学びます。
- ⑨地域生活を支援する包括的な支援（地域精神保健福祉活動）の意義と展開について学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会

『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 第2版』

『新・精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 第2版』

中央法規 2014年

【精神保健福祉の理論と相談援助の展開：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、精神科リハビリテーションの理念・意義をまとめ、自分自身が感じたことを、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	課題に従い、教科書の内容をまとめるだけでなく、自身の考えも記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、家族への支援の目的・効果についてまとめ、自身が感じた必要な視点や方法を1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	課題に従い、教科書の内容をまとめるだけでなく、自身の考えも記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題③

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、患者支援において、アウトリーチする効果などについてまとめ、精神保健福祉士の役割を1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	課題に従い、教科書の内容をまとめるだけでなく、自身の考えも記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題④

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

リカバリーについてまとめ、リカバリーのための支援を行う上で、精神保健福祉士ができることは何か、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	課題に従い、教科書の内容をまとめるだけでなく、自身の考えも記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 6月27日(月) ② 2022年 8月22日(月) ③ 2022年 9月26日(月) ④ 2022年 11月21日(月)
スクーリング	2022年 9月17日(土) 2022年 11月13日(日)
小テスト	2022年 11月28日(月)

『精神保健福祉に関する制度とサービス』

担当教員：大島 康雄

精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容、支援においてかかわる施設、団体、関係機関等、支援に関連する制度として、更生保護制度及び医療観察法等の概要を学ぶ。

また、事例を活用して、精神保健福祉関連法のもとで実践がいかに関展開されているかについて理解する。

【授業の目的・ねらい】

精神保健福祉に関する制度とサービスについて理解する。

【授業全体の内容と概要】

- ①精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて理解する。
- ②精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。
- ③精神障害者の支援において係わる施設、団体、関係機関等について理解する。
- ④更生保護制度と医療観察法について理解する。
- ⑤社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する。

【具体的な授業内容】

- ①精神保健福祉法の意義と内容について学びます。
- ②精神障害者の福祉制度の概要と福祉サービス・社会保障制度について学びます。
- ③相談援助にかかわる組織、団体、関係機関及び専門職や地域住民との協働について学びます。
- ④更生保護制度の概要と精神障害者福祉との関係、関係機関・団体との関係について学びます。
- ⑤医療観察法の概要と医療観察法における精神保健福祉士の専門性と役割について学びます。
- ⑥社会資源の調整・開発にかかわる社会調査の意義、目的、倫理、方法及び活用について学びます。

【テキスト】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟『新・精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉に関する制度とサービス』第6版 中央法規 2018年

【精神保健福祉に関する制度とサービス：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第6章「相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者」を参照し、精神障害者を専門職及び地域住民で支援する効果・役割について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第8章「医療観察法の概要と実際」を参照し、制度内容の説明及び、精神保健福祉士はどのような介入ができるのかについて、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 9月26日(月) ② 2022年 10月24日(月)
スクーリング	2022年 7月24日(日)
小テスト	2022年 7月25日(月)

『精神障害者の生活支援システム』

担当教員：大島 康雄

精神保健福祉領域において、権利擁護を含む地域での総合的・継続的なシステムづくりが重要になっている。そのための相談支援体制やサービスの供給体制、ネットワークづくりについて授業を展開する。

【授業の目的・ねらい】

障害者福祉の基本的理解をもとに、精神障害者の現状や課題、精神障害者を取り巻く環境や生活支援のあり方、精神疾患・精神保健・精神障害者に関する社会資源や関連する法律等について理解する。

【授業全体の内容と概要】

- ①精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する。
- ②精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。
- ③職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。
- ④行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する。

【具体的な授業内容】

- ①精神障害者の概念について学びます。
- ②精神障害者の生活の実際について学びます。
- ③精神障害者の生活と人権について学びます。
- ④精神障害者の居住支援について学びます。
- ⑤精神障害者の就労支援について学びます。
- ⑥精神障害者の生活支援システムについて学びます。
- ⑦市町村における相談援助について学びます。
- ⑧その他の行政機関における相談援助について学びます。

【テキスト】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟『新・精神保健福祉士養成講座7 精神障害者の生活支援システム』第3版 中央法規 2018年

【精神障害者の生活支援システム：レポート課題】

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書の第2章「精神障害者の生活の実際」を参照し、精神障害者の方が置かれている状況、家族・地域の現状について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	・教科書を持参して下さい。
------	---------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	2022年 10月 24日 (月)
スクーリング	2022年 7月 23日 (土)
小テスト	2022年 7月 25日 (月)

『精神保健福祉援助演習(専門)』

担当教員：大島 康雄
西野 克俊
畠山 明子

本科目では、精神保健福祉援助の知識と技術にかかわる他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助についての基礎的な知識と技術を実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を養う。

【授業の目的・ねらい】

精神保健福祉士が主に対象とする人に生じる課題などとおして、専門職に必要な専門知識・技術・実践能力を演習形式で学ぶ。

【授業全体の内容と概要】

- ①具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例(集団の事例を含む。)を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。
- ②事例を題材とし、具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した指導を行う。
- ③精神保健福祉相談援助に係る知識と技術について、実践的な知識と技術として習得できるように、精神保健福祉援助実習における学生の個別事例も交えながら集団・個別指導による指導を行う。

【具体的な授業内容】

- ①以下の事例について触れ、集団でディスカッションを実施し、支援の方法を学びます。
「社会的排除」、「退院支援、地域移行、地域生活継続」、「ピアサポート」、「地域における精神保健(自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等)」、「教育、就労(雇用)」、「貧困、低所得、ホームレス」「精神科リハビリテーション」などについて学びます。具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導を行います。
- ②以下のP S Wの支援方法を演習形式で学びます。
 - ・ソーシャルワーク展開過程～インテーク(受理面接)、契約、アセスメント(課題分析)、プランニング(支援の計画)、支援の実施、モニタリング(経過観察)、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア
 - ・関連援助技術～「アウトリーチ」、「ケアマネジメント」、「チームアプローチ」、「ネットワーキング」、「社会資源の活用・調整・開発」

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座8 精神保健福祉援助演習(基礎・専門)』第2版 中央法規 2016年

【精神保健福祉援助演習：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、精神障害者の地域移行・地域定着の現状と課題について、精神保健福祉士の視点から感じたことを、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・課題に従い、自身の感じたことを記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、うつ病(成人)の発症の原因や対応の仕方など、精神保健福祉士の視点から感じたことを、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・課題に従い、自身の感じたことを記載すること。
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	・教科書を持参下さい。
------	-------------

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 8月22日(月) ② 2022年 11月21日(月)
スクーリング	2022年 11月20日(日)
小テスト	なし

『精神保健福祉援助実習指導』

担当教員：大島 康雄
西野 克俊
畠山 明子

この科目は、精神保健福祉援助実習の意義について理解するものであり、精神障害者の生活の実態や生活上の困難について理解し、精神保健福祉援助実習に係る知識と技術について具体的に体得する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。5月に1日9時間実施する。

【授業の目的・ねらい】

精神保健福祉援助実習指導は、地域の障害福祉サービス事業所と医療機関で行う実習の事前学習と事後指導について指導するものである。

【授業全体の内容と概要】

個別指導及び集団指導により、精神障害者のおかれている現状と精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理を学ぶ。精神保健福祉援助にかかわる知識と技術について具体的かつ実際に学びつつ、自己に求められる課題について考える。精神保健福祉援助実習の意義を考え、事前準備を行う。

【具体的な授業内容】

次に掲げる事項について個別指導及び集団指導を実施します。

- ①精神保健福祉援助実習指導・実習の個別指導及び集団指導の意義を学びます。
- ②精神保健医療福祉の現状に関して学びます。
- ③実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関して学びます。
- ④実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関して学びます。
- ⑤精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関して学びます。
- ⑥実習における個人のプライバシー保護と守秘義務に関して学びます。
- ⑦「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関して学びます。
- ⑧実習計画書の作成を行います。
- ⑨巡回指導（訪問指導、スーパービジョン）に関して学びます。
- ⑩実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成に関して学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』第2版 中央法規 2015年

【精神保健福祉援助実習指導：レポート課題】

レポート課題①

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、専門職養成における実習の意義・目的について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題②

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、実習中に記載する実習日誌の意義・目的について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

レポート課題③

次の課題について1,000字～1,200字の範囲で述べなさい。

教科書を参照し、実習終了後の事後指導の意義・目的について、1,000文字～1,200文字でまとめなさい。	
レポート作成上の注意点	・特になし
レポート作成のための参考文献	・特になし

【スクーリングについて】

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは持参してください。 ・最初のスクーリング時に、エントリーシート（自己紹介書）や誓約書を作成しますので、写真（縦4.5cm×横3.5cm）1枚（カラー・白黒は問いません。スーツが望ましい）と認印を持参ください。
------	---

【評価方法】 ※対象：精神保健福祉援助実習を行う受講生のみ

	実施日・提出期限
レポート課題	① 2022年 5月23日（月） ② 2022年 9月26日（月） ③ 2022年 11月21日（月）
スクーリング	2022年 5月14日（土）
小テスト	なし

『精神保健福祉援助実習』

担当教員：大島 康雄
西野 克俊
畠山 明子

この科目は精神保健福祉援助実習の意義について理解するものであり、精神障害者の生活の実態や生活上の困難について理解し、精神保健福祉援助実習にかかわる知識と技術について具体的に体得する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。

精神保健福祉援助実習は、おおむね6月から翌年1月までを目処に27日間以上(210時間以上)実施し、12日間(90時間以上)は精神科医療機関、15日間(120時間以上)は精神障害者支援施設等で行う。ただし社会福祉士の「相談援助実習」を履修した方は、精神障害者支援施設等120時間のうち、60時間の実習が免除され、計150時間以上(20日間)の実習を行うこととする。

- ・本通信教育科が指定・提携する指定施設において実習を実施する。
- ・実習時間は210時間以上必要であり、90時間は精神科病院、120時間は精神障害者支援施設等で実施。厚生労働省の指定する施設などで相談援助業務に1年以上従事している場合は、実習が一部免除される。免除を希望する学生は入学申込みの際に、実務経歴証明書を提出してもらう。
- ・実習は原則、6月から翌年1月までを目処に27日間以上(210時間以上)実施し、12日間(90時間以上)は精神科医療機関、15日間(120時間以上)は精神障害者支援施設等で行う。但し、社会福祉士有資格者は、精神障害者支援施設等120時間のうち、60時間の実習が免除され、計150時間以上(20日)の実習となる。
- ・実習期間中に当校実習巡回教員が、実習先と調整のうえ週1回の巡回指導を行い、学生に対し、指導・助言を行う。
- ・実習期間中は週1回の巡回指導を基本とし、実習先と調整、了解を得ることができれば、帰校日とすることもできる。しかし1回は実習先への巡回を行う。
- ・規定実習時間も満たし、実習日誌、総括レポートの提出を行い、実習の修了とする。しかし、実習評価が著しく低い場合は再履修とする。

【授業の目的・ねらい】

精神保健福祉士に必要な専門的知識・技術・実践能力を身につける。

【授業全体の内容と概要】

実習の目的は、精神科ソーシャルワーカーとして体得しておくべき態度と実践能力を高めることにある。これらを身につけるためには、教科で学んだ専門知識を実際に生かし、また、事前学習で学んだ援助技術を実践場面でも活用できるようにする。

【具体的な実習内容】

1) 精神科医療機関・精神障害者支援施設等共通

- ①利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション、付き合い方などの円滑な人間関係の形成を学びます。
- ②利用者理解とその需要の把握及び支援計画作成の仕方を学びます。
- ③利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との支援関係の形成を学びます。
- ④利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価方法を学びます。
- ⑤精神医療・保健・福祉に係る多職種連携の支援におけるチームアプローチの実際を学びます。
- ⑥ソーシャルワーカーとしての職業倫理と法的義務について学びます。
- ⑦施設・機関・事業者の職員の就業に関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任について学びます。
- ⑧施設・機関・事業者等の経営やサービスの管理運営の実際について学びます。
- ⑨実習先が地域社会の中の施設・機関等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して学びます。

2) 精神科病院

- ①入院時又は急性期の患者及びその家族への相談援助について学びます。
- ②退院、地域移行・支援に向けた、患者及びその家族への援助について学びます。
- ③多職種や病院外の関係機関との連携を通じた援助を学びます。
- ④治療中の患者及びその家族への相談援助の方法について学びます。
- ⑤日常生活や社会生活上の問題に関する、患者及び家族への相談援助を学びます。
- ⑥地域の精神科病院や関係機関との連携を通じた援助を学びます。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』第2版 中央法規 2015年

【評価方法】

	実施日・提出期限
レポート課題	なし
スクーリング	なし
小テスト	なし